

港北区民生委員児童委員協議会広報紙

第24号



# ほほえみ

発行 横浜市港北区 民生委員協議会  
児童委員  
横浜市港北区大豆戸町26-1  
電話 045(540)2339  
FAX 045(540)2368  
発行責任者 会長 宮田 光明

## こんにちは民生委員・児童委員です 広げよう 地域に根ざした 思いやり

### 子どもの事で

赤ちゃん会や子育てサロンなどにかかわっています。  
また子育て不安や、いじめ、登校拒否、児童虐待など気軽にご相談ください。

### 高齢者の方へ

ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方、介護保険サービスを受けたいと考えている方、心配事や相談事、なんでも結構です。気軽にご相談ください。

### 障害のある方へ

お困りのこと、援助を必要とすることはありますか。地域の支援を行政と連携して行っています。

### 生活に困った時

困窮の実情に応じ、生活福祉資金などの公的貸付制度や生活保護についてご案内します。

### その他

母子福祉や配偶者からの暴力(DV)など、困ったことがあれば、深刻な状況になる前にもまずご連絡ください。

民生委員・児童委員は  
守秘義務が課せられています。  
プライバシーは守ります。

民生委員・児童委員は  
相談に応じ、地域の関係機関等との  
つなぎ役になります。  
わたしたちに気軽に  
声をかけてください。

## 今年は制度創設100年

民生委員制度は大正6年に岡山県で設置された「済世顧問制度」に始まります。翌大正7年に大阪府で「方面委員制度」が発足し、昭和3年に方面委員制度が全国的に普及しました。横浜市でこの制度が制定されたのは大正9年でした。

戦後(昭和21年)民生委員令の制定により名称が「民生委員」に改められ、地域の福祉増進のための幅広い活動に広がりました。昭和22年の児童福祉法の制定に伴い、

「民生委員・児童委員」として地域の児童福祉活動の中心となりました。

また、平成6年には多様化する児童問題に対応するために、児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」制度が創設されました。民生委員制度は約100年の歴史ある制度で、民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域の皆さまの立場に立った相談・支援者として生活を支えています。





# 一斉改選が 行われました

平成28年12月1日付で民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選が行われました。委嘱式では各地区の代表者が横山港北区長から委嘱状を受け取り、港北区全体で388名の民生委員・児童委員、そのうち42名の主任児童委員が委嘱を受けました。

## 地域福祉の推進役として

港北区長 横山 日出夫

昨年12月の一斉改選により、民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様には各委員をお引き受けいただき有難うございます。

港北区では、子育て支援や高齢者支援施策などを通じて、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域で支えあう仕組みづくりを進めています。こうした取組を進めるために、皆様には重要な役割を担っていただいています。今後も皆様により一層ご活躍されますことを期待しております。

## 一斉改選に寄せて

港北区民生委員児童委員協議会 会長 宮田 光明

民生委員・児童委員、主任児童委員は住民の相談を受け止め、福祉サービスが必要な人に支援先を紹介する「つなぎ役」として活動しています。

新委員はまだ分からない点も多いと思いますが、研修や各地区民生委員児童委員協議会での定例会の機会などを生かして、ひとりで考え込まずに活動をして下さい。再任委員は、新委員のサポートをしながら、引き続き地域に根ざした活動をお願いします。

# 民生委員・児童委員の組織

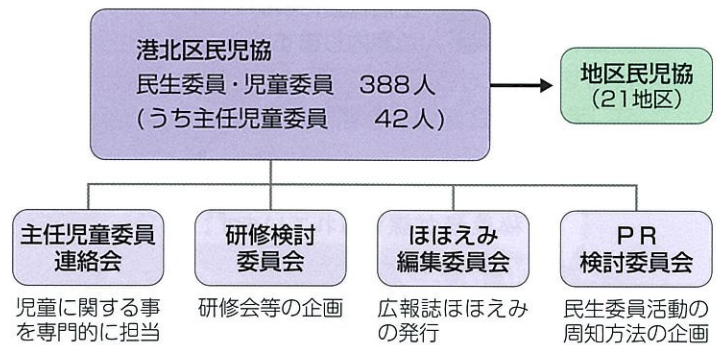
(民生委員児童委員協議会〔略称：民児協〕)

## ◆区民児協の活動

委員会を開催し、区民児協の運営について協議します。毎月1回地区民児協の会長及び主任児童委員連絡会代表による会長会を開催し、情報交換や区民児協の活動について検討します。

## ◆地区民児協・定例会の活動

地区民児協は、民生委員・児童委員、主任児童委員が毎月開催する定例会を中心として、関係行政機関の連絡事項および委員同士の連携・協働をすすめるとともに地域の情報や支援の検討などを行っています。



## 港北区民生委員児童委員協議会役員名簿

会長	宮田 光明	副会長	永野 和子	副会長	山口 早苗
幹事	漆原 通子	幹事	森下 茂子	主任児童委員代表	川原 裕美子

## 地区民児協の会長名と人数 (平成28年12月1日現在)

日吉	加藤 君子	15人	大曽根	安藤 和子	15人	篠原	北原 知子	22人
日吉宮前	山科 礼子	12人	樽	鈴木 和幸	14人	篠原南	山口 早苗	19人
箕輪	小嶋由美子	12人	菊名	齊藤千代子	12人	城郷	中山千加子	19人
日吉本町	山下とも子	25人	大豆戸	永野 和子	23人	新羽	中山 明子	18人
下田	折笠 政子	17人	篠原北	鈴木 久子	13人	新吉田	中山 欽一	27人
綱島東	松井 清美	19人	師岡	佐藤 幸也	14人	新吉田あすなろ	長澤はま子	11人
綱島西	飯田 正巳	32人	大倉山	大川 幸恵	28人	高田	宮田 光明	21人



# 地区からの紹介

## 子ども達 昔遊びに夢中

日吉地区 加藤 君子

梅雨明けのニュースにほっとしたものの、蒸し暑い7月29日「サロン日吉なかよし」4周年記念式典が行われました。

「サロン日吉なかよし」がオープンして以来、どのようにしたら地域の子子ども達が気軽に集まることができるのか試行錯誤を繰り返してきました。やはり現実には厳しく塾やおけいこ事が忙しく、企画したものの子ども達に参加してもらうことの難しさを痛感しました。

今年は、早いうちから子ども会のお母さんと協力しながら昨年好評だった昔遊びを中心に、料理は「具たくさんすいとん汁」を作る事に決めました。すいとん汁は、初めての方が多かったものの戦後の窮乏時代に、すいとんが主食として大きな役目を果たしたことも話題になりました。



## 三島市障害者施設研修

箕輪地区 鶴元 精

今年6月、静岡県三島市にある社会福祉法人見晴学園(障害者支援施設)で研修を行いました。箕輪地区民生委員・児童委員全員が参加しました。

昭和30年に設立され、入所定員80名、短期入所定員8名の立派な施設でした。

施設では、自立した日常生活、社会生活が営むことが出来るよう、本格的にトイレトペーパーの製造販売を始め、お菓子、パンなどの販売も行っております。

見晴しのいい場所に、いい環境の中で障害者の方々が元気に生活されているのを見ることができ、大変有意義な研修が出来たと思っています。箕輪地区民生委員・児童委員は、今後とも独自に研修会を行い勉強していくつもりです。



## 講演会「在宅診療について」に参加して

日吉宮前地区 岩澤 政子

6月24日(土)、日吉宮前公会堂に於いて、地域主催の講演会が開かれました。

講師は、日吉宮前地区にある慶友クリニックの理事長である医師の田上祐輔先生でした。慶友クリニックが在宅診療部として取り組むこととなり、高齢化が進む中、地域の関心事でもある地域医療の在宅診療は傾聴に値するものと考え、積極的に講演会に参加してきました。

今回参加した方々は、健康そうな高齢者が多かったようですが、在宅医療を希望される方々にとっては、大変喜ばしい話だと思いました。地元にこのような医療機関が出来て、心強いです。



## 福祉の視点を取り入れた「防災のまち歩き」

日吉本町地区 菊地原 邦子

日吉地区対象に「防災まち歩き」と題し講演会が開かれました。私達の町に関わる防災関連情報の地図を見ながら、自分達の暮らす町を知る。そして日吉という町の歴史から見る成り立ちと、全体の地形を知るものでした。

まち歩きをするにあたり、「大変と思わず平らな高台や急な斜面、崖地、袋小路の道など福祉の視点から見る良いところ、また危険なところをみて歩く事が重要ですね」との話がありました。

「まち歩き」の大事なことは、実情を記録し皆で共有することです。記録を取らないと何度繰り返しても散歩にしかならないことを学び、安全な生活について探究的に考え、また見直したり実践的に行動して取り組んでいきます。





## 施設見学に行って

下田地区 中野 美恵子

民生委員・児童委員になって4期目に入り、私自身、地元との関わりもあって何かと忙しい日々の中ですが、委員として色々な施設を訪問、見学出来る事が楽しみでもあります。今回は新しくなった横浜市民防災センターに行き、火災、減災ルーム、地震シミュレーター等々体験型でリアリティ満載。いつ起こるかかわからない恐怖を覚え、各自の防災への意識を一層高めていく事の大切さを痛感してきました。

その後の昼食会は定例会と違い、仲間としてののよもやま話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。3期といえば長い様ですが未だに微力です。私なりに地域のお役に立てていければと思っております。



## 高齢者・障害者見守りプラン

綱島西地区 小林 孝太郎

民生委員・児童委員になり自治会と協力しながら高齢者・障害者にどのように対応したら良いかを考えました。

現状確認したところ3分の1が見守りが必要な世帯である事がわかりました。現状を見るに「向こう三軒両隣」が浮かび、昔当たり前だった隣組制度が効率良く見守りプランになると思いました。積雪時にお婆さんが雪道で雪の塊に足をとられ動けなくなりました。その時隣近所の方々が一向に戻らないお婆さんを心配して、外に出て助けたことで、事なきを得ました。日頃より隣近所の声かけや関心を持っていたお陰だと思えます。

地域皆が関心を持って生活する事『明るく(誰が居るのか知る)温かな(挨拶声かけ)優しい(直ぐに手を差しのべる)』人間関係を作っていければと思えます。



## 民生委員・児童委員の活動

綱島東地区 中丸 正通\*

綱島で生れ育ち70余年になりますが、PTA会長を3期務めてから、民生委員・児童委員をと声を掛けられ、増員という時期に話があり引き受けました。それから20年近くになりますが、いろいろと勉強させて頂いています。毎年のお楽しみ会では、ひとり暮らしの高齢の方、樽町地域ケアプラザの人達と共に腹話術師ポンちゃん人形とのひと時や、長友先生の電子オルガンで昔懐かしい歌を全員で歌ったりで楽しい時間を過ごします。

日々これ好日、以前は鶴見川河川敷のブルーシートの見回り、今はなくなりましたが、ホームレスの見回りで区役所の担当者と国交省の方と一緒に声をかけて、「元気そうですね」と言ったら、「元気でねえ」と喧嘩になりそうになったり、いろいろ勉強になりました。



## 福祉まつり

大曽根地区 横溝 有子



毎年11月3日の祝日に大曽根会館とその周辺で福祉まつりを開催しています。

オープニングでの和太鼓演奏、ボランティアグループの模擬店、大倉山記念病院の健康相談、樽町地域ケアプラザの介護相談など有意義で楽しいひとときを過ごしていただけます。私たちは、お赤飯とおこわの販売に加え数年前から主任児童委員を中心にバルーンアートの店を出し、細長い風船で動物や剣などを作りさしあげ、また子ども達と一緒に作ったりもします。

地域の方とのふれ合い、笑顔、ありがとうの言葉は、参加してとてもやりがいを感じました。子どもから高齢者まで楽しめるお祭りです。



## 災害時要援護者見守り報告

師岡地区 佐藤 幸也

昨年6月12日に、師岡地区打越町内会の、災害時要援護者の見守りが行われました。今年度1回目の訪問でしたが前年度同様、民生委員・児童委員と町内会の理事の方々との合同で行われました。師岡地区では、対象者の皆さんに、「我が家の緊急連絡先」という電話メモを配布し、同じものを民生委員・児童委員も持って管理し、災害時に活用できるようにしております。今回はその連絡先に、変更等がないか確認したところ、4名の方にケアマネージャーの交代があり、当該電話メモを書き直し、差し替えを致しました。介護度の変更時に変わることが多いので、今後訪問時にはその都度確認し、情報更新することが必要であると感じました。緊急事態の際に役立つことを目的に行っていますが、民生委員・児童委員の顔を覚えてもらい、お役に立つことに繋がれば良いと思っています。



## 地域を覚える

篠原地区 野崎 理恵子

民生委員・児童委員を拝命し12月で6年になります。初めは受け持ちの地域でどう活動してよいのかも分からず手探り状態でした。

そんな中で、自治会から敬老の日にお祝いのお茶を配るお手伝いがありました。3日間かけて、地図を手に100世帯130名分のお茶を配るという、恒例のちょっと大変な行事です。

毎年訪問を繰り返すうち、住所や世帯の状況を把握でき、顔を覚えていただけようになりました。ご近所や商店街では積極的に挨拶をし、民生委員・児童委員としてお役に立てることはないかと声掛けしています。

「地域を覚える」今年もご様子伺いを兼ねてお届けします。



## 笑顔で暮らせるまち大倉山

大倉山地区 大川 幸恵

大倉山地区には「太尾ふれあいクラブ」という会があります。高齢者が元気で自宅で暮らせるように少しの家事支援をしています。介護保険では出来ない小さなお手伝いですが大きな笑顔につながっています。私はコーディネーターとして、ボランティアさんと利用者の方々との橋渡し役をしています。ボランティアさんに支えられての活動ですが、利用者の方々もボランティアさんも「ありがとう」の笑顔になります。高齢者世帯が増えて、今まで自分で出来ていた身のまわりの事が困難になってきた方にとても喜ばれています。

ふれあいクラブでの活動は、民生委員・児童委員としての高齢者の方々の見守りにもなっています。これからも相互支援の輪がひろがっていくよう活動していきます。



## とも・とも篠原

篠原南地区 久々宮 千恵子

「わがまち篠原」の交流分科会は、道で会った時に挨拶しあえる関係づくりと誰もが集える交流の場づくりを目標に活動しています。「とも(友)・とも(共)篠原」は、個別支援学級に通う小中学生を対象にした放課後余暇支援です。地域活動ホームや他の地域の見学や学習会を経て4年前に始め、現在は年8回実施しています。構成メンバーは、自治会役員、民生委員・児童委員、ボランティアです。ボランティア応募には退職者や男性も多いです。PTAや学校と子どもの様子や行事などの情報収集をしながら、実施の年間予定を立てて参加希望者を募っています。ゲームや工作、調理など楽しい集いなので卒業したOBが参加することもあり、いつもにぎやかです。





## 活動を通して

樽地区 山口 英子

樽地区は最近、大規模マンションが増え、それに伴い子どもの数も増加しています。地区では以前から、子育て支援としてサロンなどの活動も活発に行われており、その中の一つ「たるとも」にボランティアとして参加しています。「たるとも」は、個別支援学級に通う、町内在住の小学生が参加できる放課後サロンとして、毎月1回地域ケアプラザで行われています。毎月のカレンダー作り、月ごとのレクリエーションなどを行います。夏にはOB・OG、保護者の方も参加してのお楽しみ会もあり、子ども同士はもちろん、保護者の方の交流の場にもなっています。

このような活動を通して地域でのつながりが生まれ、情報共有にも役立てていけると良いと思っています。



## 地域で広げよう「スリーA」

大豆戸地区 照本 美津子

「スリーA」とは「あかるく・あたまを使って・あきらめない」という文字通りの3つの「あ」を意味しています。毎月第2金曜日午前、第3金曜日午後に認知症の予防として活動しています。人と言葉を交わす事、ふれあう事などを共有する事で、お互いに喜び合え、参加者は笑顔で来られ、笑顔で帰られます。

まず、自己紹介で始まり、イメージ手洗い、指おりを大きな声で数え、グー・チョキ・パーはリズムに合わせ歌を歌いながら楽しめます。一度に二つの事をする事で脳を活性させていき、出来ても出来なくても、大きな拍手を贈ります。

リボンを使ったゲームでは、勝ち抜くと優勝もできます。顔見知りも増えて、会話と笑顔がますます増えることでしょう。



## 認知症予防「スリーAの会」

菊名地区 二見 きくえ

菊名コミュニティハウスに賑やかな笑い声と元気な掛け声が響きます。菊名地区民生委員児童委員協議会の自主事業として始まった「スリーAの会」です。「あかるく・あたまを使って・あきらめない」をモットーに、易しい手指の動きにリズムに乗った動作を加え、楽しいレクリエーションとして認知症予防を図ります。全員笑顔になったところで和やかにティータイム。それぞれの話に花が咲きます。

回を重ねる度に新しい発見もありこれからの課題も見つかります。

「スリーAの会」が笑顔の集まるみんなの居場所、そして認知症予防において継続は力なりを実証できる場になるように願いつつ、活動を続けていきたいと思っています。



## ひとり暮らしの高齢者宅訪問

篠原北地区 手塚 寿子

民生委員・児童委員を引き受けて、活動の多岐にわたることに、少したじろぎましたが、まずは、「ひとり暮らしの高齢者宅訪問」からのスタートです。

お留守の方が多く、お会い出来るまでは、いろいろと試行錯誤の連続でした。訪問を重ねる毎に、お話しがはずみ、親しく思っただけの様子を感じられ、少しでも心に寄りそい、お役に立てればと、耳を傾けています。皆様がそれぞれにしっかり生活しておられ、教えられる事・気付かされる事も多々あります。夏は防虫スプレーをしっかりと、冬は暖かくして、準備万端で、今日も訪問です!





## 学校とのつながり

城郷地区 上田 美穂

毎月1回、小中学校の専任の先生と主任児童委員が集まり、話し合いを行っております。

城郷中学校、小机小学校、城郷小学校、緑区の東本郷小学校の4校です。

各校から学校行事、子ども達の様子などの報告をいただき、主任児童委員からは、地域での子ども達の様子などを報告しております。毎月、先生方と顔を合わせ話し合いをする事で細かな情報交換、伝達ができ大変意味ある会だと思っております。

これからも学校と地域とのつながりと見守りを続け、子ども達が笑顔で過ごせるように務めていきます。



## 気楽に寄れる縁側

新吉田地区 稲垣 弘子\*

近所で高齢者が気楽に集まれる場所として「まちの縁側」を始めてから5年になります。自宅の庭のバーベキュー用の簡単な水場とテーブルを活用しました。近所の3人が中心になり、毎月第4木曜日10時～11時半開催です。最初は女性ばかりで、お茶とお菓子で雑談。

そのうち、余り布を持ち寄ってふくろうの携帯ストラップ等、手芸をしながらの雑談になりました。出来た作品は少しでも社会のお役に立てたらと地域ケアプラザに寄贈し、デイサービスでのお誕生会のプレゼントになっています。男性も参加されるようになり、囲碁も始まりました。時には、ウォーキング中の人や散歩途中の親子連れが寄ったり、屋外ならではの緩いつながりを楽しんでいます。



## ウォーキング

新羽地区 米山 健二

第3期ひっとプラン港北の新羽地区計画に基づき、健康づくりの取り組みを進めています。健康づくりや介護予防につながる一環として、地域保健活動推進員が主催する毎月第1木曜日のウォーキングをPRし、参加者を増やし地域の活性化に向け励んでいます。4月は雨で中止となりましたが、5月の四季の森公園、6月の茅ヶ崎城址公園と大塚・歳勝土遺跡公園を歩きました。回を重ねる毎に参加者が増えてきています。四季の森公園では自然の豊かさに驚き、茅ヶ崎城址公園では14世紀末から15世紀初期にかけて築城され中世城郭として遺構が残っている城址に驚き、大塚・歳勝土遺跡公園では弥生時代中期を中心とする大規模な環濠集落の遺跡に驚き、と驚きの連続でした。



## 民生委員・児童委員になって

新吉田あすなろ地区 富田 喜久江



民生委員・児童委員になり、一期目を終わろうとしています。右も左も分からず、先輩の方々に教えて頂き、なんとか3年間を過ごしてきました。地域の防災訓練や盆踊り、運動会等いろいろな活動にも参加しました。さまざまな方々とふれ合い、良い経験をさせて頂いています。

民生委員・児童委員になり初めての仕事は、障害のある方との関わりでした。朝早くに近所の方からの連絡が入り、近所の方の情報を包括支援センターに連絡をして相談しました。約2年半、その方のお話を聞いたり近所の方々の相談を聞いてきました。包括支援センターやケアマネージャーの方々のご尽力で施設入所が決まりました。一人暮らしが難しくなっていましたので安心いたしました。3年近く関わってきた方なので淋しい気持ちです。



## 「あったかだ」に参加して

高田地区 三澤 美恵子

私は、ようやく2期目となる新米の民生委員・児童委員です。高田地区民生委員児童委員協議会には3つの部会があり、私は障害者部会に属しています。部会のメンバーとして、色々な活動に参加していますが、その中に精神障害者の親の会の「あったかだ」があります。「当事者のことを」少しでも地域の人に知ってもらいたいと、高田地域ケアプラザで毎月1回サロンを開いていて、そこに民生委員・児童委員全員が交代で参加するのです。ときには、ゲームを一緒に楽しんだり季節の行事に加わったりすることもあります。また講演会や「傾聴講座」に参加することもあります。

「あったかだ」の皆さんから頂く「民生委員さんが来てくれて嬉しいわ」という言葉が、私達の次の活動の活力になっています。



※H28.11.30付退任

## 主任児童委員より

新吉田あすなる地区 川原 裕美子

主任児童委員は、21地区42名が集い毎月連絡会を開いています。連絡会では、報告・連絡の他にスキルアップや知識を深めるための研修を組み入れたり、各関係機関の方々と情報交換の場を設けています。

その中でも、それぞれ年に1回ずつ行っている、小学校の児童支援専任教諭と中学校の生徒指導専任教諭との情報交換会は、年々実りのあるものとなっています。連絡会で継続的に実施することにより、各地区でも定期的に先生達と情報交換を行うなど「顔の見える関係」作りが加速しています。

こうした日頃からの取り組みが、つなぎ役として私達が役割を果たしていく中での一つの大きな力になると感じています。



## 民生委員・児童委員全体研修を受けて

師岡地区 椎山 妙子

済生会横浜市東部病院 神経内科 後藤淳先生をお招きして「認知症を生きる人と地域に向き合う人」と題した講演会が行われました。福祉関係者向けのものでしたが、認知症のそれぞれの特徴・進行する様子・合併しやすい身体症状などが解説されました。

認知症で最も多いのはアルツハイマー病です。家族やかかりつけ医に気付かれないまま見逃されてい

ることもあります。アルツハイマー病は発症するかなり前から静かに進行していることが知られています。

在宅介護では介護保険を使って生活支援体制を整えることになり、医療・福祉・ケアがチームとなって地域で支援することが求められています。介護者の燃えつき、介護うつを予防することも大切です。今回、認知症をより一層知り理解する研修会となりました。

## 港北ふるさとふれあいまつりに出店しました

10月22日に開催されたふるさとふれあいまつりに出店し、当日は大盛況でした!



### 編集後記

100周年記念誌とほほえみの同時進行で、あわただしい編集になりましたが、新メンバーと共に試行錯誤しながら、魅力ある物とすべく、限られた時を有意義に過ごしました。引き続き頑張ります。(M・H)

編集委員 (◎委員長、◇顧問)

◎蛭野美津子(日吉)・井上弘子(日吉宮前)

磯貝淑子(菊名)・椎山妙子(師岡)・熊倉康子(篠原南)

矢野泰秀(高田)・神丸悦子(主任児童委員)・米山健二(新羽)

◇永野和子(大豆戸)

※◎白鳥千代子(日吉本町)…H28.11.30まで